

自分を守る！	▶初動体制の構築	連携組織をつくる
--------	----------	----------

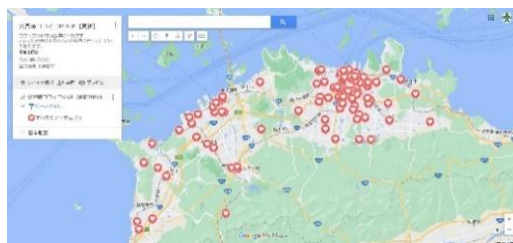
008	災害時に向けた 地域中小企業の連携を促す 「ココイコプロジェクト運動」	取組主体		
		一般社団法人香川県中小企業家同友会		
		会員数	想定災害	実施地域
		1,569 人	全般	香川県全域

地域中小企業が連携し、災害時に向けたネットワークを構築する「ココイコプロジェクト運動」を推進し、地域の自主防災組織及び公的機関向けの「災害時ココイコ MAP」や地域企業向けの「BCP（事業継続計画）チェックリスト」を作成し、あらゆるリスクに対する強い企業づくりを推進している。

1 取組の概要

災害時の地域の物資不足を解決する「災害時ココイコ MAP」と企業の自助力向上のための「BCP（事業継続計画）チェックリスト」

- ・一般社団法人香川県中小企業家同友会は、香川県内の中小企業経営者が所属する団体であり、同会の女性委員会が中心となって、災害時に備えた企業間のネットワークづくりを目的とした「ココイコプロジェクト運動」を推進している。
- ・プロジェクト内の取組として、災害時に避難所などを運営する地域の各自主防災組織が必要な物資を迅速かつ効率的に受け取れることを目指し、各企業が提供可能な物資などの情報を集約するための「災害時ココイコ MAP」を作成した。また、あらゆるリスクに備えた強い企業づくりに活用してもらうことを目指し、企業内で災害時の自助力を高めるための「BCP（事業継続計画）チェックリスト」を作成した。
- ・「災害時ココイコ MAP」は、地図上に物資を提供できる企業の名前と場所が表示される形の災害時専用マップである。災害時に、自主防災組織や自治会に所属し本プロジェクトにも関わる経営者が「地域リーダー」として、このマップをもとにおむつやガスコンロなどの支援物資の調達を行うことができる。調達した物資は、「地域リーダー」の管轄区や担当する避難所にいる住民に配付される。



災害時ココイコ MAP



MAP への登録フロー 「災害時ココイコ MAP」のロゴ



2 取組のきっかけと想い

- ・2018 年に発生した西日本豪雨の後、同会の女性委員会において防災への関心が高まり、防災をテーマにした定例会を開催するに至った。
- ・その定例会の中で、発表者であった岡山県倉敷市真備町で被災した岡山同友会の会員から、「地域が復興すると、被災地域であっても災害の記憶が薄れていく」という被災地における被災後の課題に関する報告があった。それを受けて、一人でも多くの地域の人々が、平時から災害に備える重要性を感じ、考え、行動できるよう、まずは地域の人々に対して、自助・共助の必要性を伝えることが重要であると考えた。また、災害の少ない香川県だからこその備えや女性目線での防災を提言することが女性委員会の使命であると考えた。
- ・そこで、まずは女性委員会が主体となり、地域企業との連携による防災の取組として、避難所として場所を提供できる事業所をマッピングした「地域連携マップ」を作成した。このマップが評価されて、2022 年 11 月に香川ビジネス & パブリックコンペでパブリック部門のグランプリを受賞した。それを機に、女性委員会の取組は、女性委員会だけでなく、同会全体で地域と企業の継続力強化を目指す「ココイコプロジェクト運動」に発展した。
- ・同コンペの中で、審査員から避難所として事業所を提供する危険性について助言があったことから、マップのあり方を再考した。さらに、高松市危機管理課との意見交換の中で、災害時には物資の提供が難航することを知り、事業所

国土強靱化

が提供できる物資を中心に記載したマップづくりに方針を変え、現在の「災害時ココイコ MAP」が完成した。

- ・また、県議会議員や地域の自主防災組織との打合せの中で、「企業が外の力を頼らずに災害時にも機能することで、行政や自主防災組織はほかの住民への支援活動を優先することができる。まずは地域の企業それぞれが、自分たちの力で自社を継続させる方法を考えてほしい」といった意見をもらったことから、「BCP（事業継続計画）チェックリスト」を作成し、企業の自助力を高める活動も合わせて行うようになった。

3 取組の特徴（差別化した点、地域特性などで工夫した点等）

地域に根ざした中小企業間の横のつながりの活用

- ・同会の会員企業間のつながりを効果的に活用することや、共通の目標や課題に取り組むプロジェクトや研修会などを通じた企業間交流を平時から行うことで、災害時に企業間での相互支援が可能なネットワークを構築している。

取組の説明の工夫

- ・本取組は、単なる企業のボランティア活動ではなく、会員企業間のネットワーク形成を行うことにより、事業継続力の強化にもつながる。取組の説明にあたっては、各企業にこのことを明確に伝えることが重要である。そのため、本取組の企業説明の際には「BCP（事業継続計画）チェックリスト」なども活用し、事業継続の重要性についての説明から始めるようにしている。

4 取組の効果

企業間連携によるネットワークの広がり

- ・「災害時ココイコ MAP」には、2025 年 1 月 31 日時点で 94 社の企業が登録している。企業間の連携を通じて、各企業の防災意識の向上や備蓄品の準備が進んでいる。

周囲の声

- ・「社員や地域住民との日頃からのつながり、コミュニケーションが災害時にも生かされることを知ることができました」（同会における定例会参加者）
- ・「自社で何ができるか、どこなら何を頼めるかといった情報共有の大切さに気付かされました」（同会における定例会参加者）
- ・「公的支援では優先順位があり手の届かない範囲があるからこそ、地域の企業の皆さんと連携させていただけるとありがたい」（高松市危機管理課）

担当者の声

- ・本取組の最終目標は企業連携と地域連携の実現です。高松のほか、東讃、西讃、小豆島のそれぞれの地域でリーダーを決め、地域ごとの企業間の連携強化を進めると同時に、自治体や各地域の団体との連携体制も整えることで、各地域における防災のネットワークの構築を目指しています。時間はかかりますが、少しずつ進めていくつもりです。
- ・2025 年 5 月末までに 500 社の参加を目標に設定しており、そのためには同会内外への積極的な声かけが不可欠です。今後さらに広範な協力を呼びかけ、目標達成に向けて努力していく所存です。また、企業間だけでなく、自主防災組織や行政などの地域の主体との連携強化にも引き続き取り組んでいきます。

問合せ先	動画	サイト URL
一般社団法人香川県中小企業家同友会 法人番号：9470005006350 電話番号：087-869-3770 FAX：087-869-3771 E-Mail：info@kagawa-doyukai.com URL：https://www.kagawa-doyukai.com/	—	